

9月定例市議会

一般会計補正予算
二十五億四千三百七十六万円
小集落事業に十八億八千万円

九月定例市議会（第九十九回議会定例会）は九月九日に開会、二十一日までの十三日間の日程で開かれ、六十二年度一般会計補正予算二十五億四千三百七十六万円など十四議案を可決、南国市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例を修正可決しました。

市政報告

市長は、議会の開会にあたって十二年度の市政を振り返り、市政の五大目標である空港整備、財政再建、同和対策、教育施設の整備、企業誘致について市政の概況と感想を述べ、残された諸問題の解決のために引き続き市政を担当する決意を明らかにしました。その後、七月から九月までの市政を次のように報告しました。

■南国市総合実施計画

昭和六十一年六月議会で南国市基本構想が議決され、七十年を目標とする基本計画を発表したが、この

■黒滝し尿処理場改善

黒滝し尿処理場の改善工事は、今年四月に着工し、九月から試験運転を行って、この改善工事によって当面は万全を期することができると考えている。

処理水は、トレンチ方式による処理施設を追加設置することとし、そのための予算を要望している。

■阿佐線問題

阿佐線建設は、第三セクター方式によって経営を引き受けるもので、その準備体制として、昨年五月、土佐くろしお鉄道株式会社が発足した。工事着工のため運動を続けた結果、本年度のAB線予算のうち十億円の保留額が決定し、阿佐線に充当される可能性が高まった。この促進のため、地元協力体制の充実を図ろうと関係市町村と高知県によって八月十日、阿佐線建設促進協議会を発足させた。本市の立場としては、現在の過程には必ずしも全面的な賛成ではなく、市民の利益を守るため、幾つかの条件を示している。しかし、この達成のためには本市の協力が必要であることや公共交通機関による本市のメリットも配慮しなければならぬ。

■同和対策事業

六十二年度以降の同和対策事業は、本年三月三十一日に公布された「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」によって、小集落地区改良事業を中心として実施している。

本年度からは東崎西部の事業が本格化してくるため、これに伴う土地の買収準備も現行価格を妥当なものとして決定した。事業を五年間で終了させるためには、用地買収が最も重要であるので、住民の理解と同和対策課の総力を挙げて取り組むことにしている。

可決された主な議案

■昭和六十二年度南国市一般会計補正予算（総額二十五億四千三百七十六万二千円を補正。歳出の主なものは、小集落地区改良事業費十八億八千万円、黒滝し尿処理施設改善工事費千五百万円、市道改良工事費千二百万円、後免野田小学校給食棟増設工事費二千九百三十万円、災害復旧費一億三千八百八十五万円。補正財源は、地方交付税、財政調整基金の取りくずしなど。

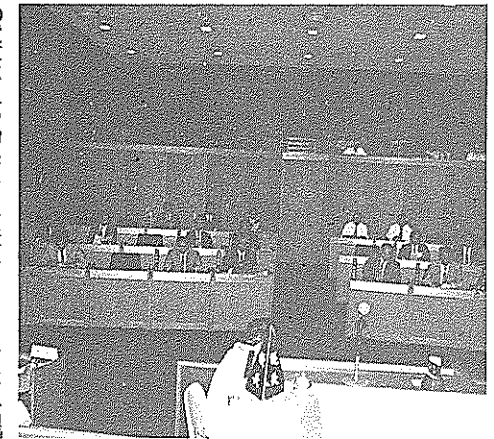
■昭和六十一年度南国市水道事業会計決算の認定について（収益的収支は差し引き純利益三千五百七

■公共事業の執行状況

国府小学校屋内運動場、北陵中学校増築、公共下水道管渠布設工事は、順調に工事が進んでいる。その他の大型工事としては、高速度道路供用開始に伴う消防署北部出張所が五千六百九十万円、竣工予定、潮見台ニュータウンのための大戸川雨水貯留施設工事八千七百四十万円、市小学校プール七千六百四十万円、香長中学校騒音対策防音工事八千二百四十五万円などを現在までに契約している。

一般質問

九月定例市議会の一般質問は、十四、十六日の二日間に行われ、今井、高島、松木、山崎、竹内、井上、井口、小沢各議員が同和問題や環境問題などについて執行部の考えをたずねた。その主な内容は次のとおりです。



つながるわけではないことも理解してほしい。

電算導入によってそれぞれの部門でかなりの効果が上がっている。住民基本台帳については事務の軽減によって人員が一名減り、住民票記載事務をすべて本庁でやるようになった。予防接種等の個人記録の事務処理については人員増なしで対応ができていて、税務については一筆課税の処理と人員を滞納整理に回すことが可能となり、収入の確保につながっている。電算導入による人員の過不足は現在検討しているが、合理的な転換ができるのではないかと、阿佐線についての市長の考えは、阿佐線建設促進協議会での話し合いはどうか。

○循環鉄道は絶望に近いと思われるが、奈半利までもやむを得ないと市が結論を出した。市としては、当初の条件を抜きにして

○電算導入の効果はいつ表れるのか。各課の職員配置の見直しについての考えは、また、職員の新規採用を行うのは事務事業を見直した後にしてはどうか。

○基本的には新規採用はしないことにしたいが、遠い将来を考えると得策ではない。ごく少数でも将来のバックボーンになるような人材を採用すべきではないかと考えている。また、臨時職員が相当数いることも考慮しなければならぬ。人件費などの問題もあるが、採用しないことが必ずしも節約に

千屋崎不燃物埋め立て処理場



に基本計画を立て、六十四年、六十五年間に建設を考えている。

●乳児保育所の設置についての考えは、また障害児保育の保育料が健常児より高いのは問題ではないか。

○市では、現在共同保育所コスモにわずかながら補助金を出しているが、本来法人でなければ補助金は出せない。市の事業として取り上げることができるよう早く法人格にするようにしてほしい。

六十三年度に向かって部屋が空いている後免野田、里改田保育所で一歳児保育を検討している。

また、障害児保育の保育料が健常児より高いのは、健常児との保育が適切と思われる程度の軽い場合に保育を行うとしている厚生省の通達よりゆるやかに措置してい

るためである。十分調査して今後の取り組みを検討する。

●文化会館の建設で、教育施設の整備が遅れているのではないかと、現在老朽校舎、プール、体育館の整備が急ピッチで進んでいる。

○現在程度教育施設の整備が進んでから文化会館に取りかかりたいが、財政枠などの条件が厳しい。学校教育施設の整備はあと十年くらいかかる。文化会館の建設は、七十年を目標としているがなるべく早く対処したい。

●国民年金について負担能力がありながら負担しない者に差し押さえを行うことが、負担能力があるかどうかをどこで判断するのか。

○今年六月に社会保険庁から差し押さえについての通達があった。現在未加入者がいることもあり、差し押さえというものはなじまないのではないかとと思われるが、これは機関委任事務であり、市としては協力せざるを得ない。差し押さえは、前年度、前々年度が未納でかつ十分負担能力があると社会保険事務所が判断した場合に行うが、差し押さえを行う前には市と十分話し合いをするという約束をしている。差し押さえる前に年金について市民の理解を得、年金加入率を引き上げていくことから考えていきたい。